

# 当面の主要課題

■ 我が国経済を牽引する金融・資本市場の構築とその魅力の積極的発信

■ 投資者の視点に立った仲介機能の発揮と信頼性の向上

## 市場の魅力・機能向上への施策

中長期的な環境変化も見据え  
対応を図る

## 信頼性向上への施策

### <日本市場の魅力のPR>

- 日本市場の魅力の掘り起しに向けた検討と市場振興等のための積極的な情報発信(会議体の設置、取引所等関係機関との連携等)
- 金融・資本市場のグローバル化に対応した官民一体による日本市場の認知度を高めるPR(海外向けPR活動の推進、アジアを含む海外市場関連団体との対話促進)
- インターネット(コミュニティ型ウェブサイト)の有効活用など積極的な情報配信への取組み

### <市場基盤の整備と国際競争力の強化>

- 取引所外取引及びPTSの今後のあり方に関する調査研究
- グリーンシート銘柄制度の抜本的な見直しに向けた検討
- 公社債市場の活性化(社債の価格情報インフラの整備、社債レポ市場の整備、社債管理のあり方、国債取引決済期間の短縮等)に向けた検討
- 我が国金融業の中長期的な在り方に関する報告書(金融審議会)のアクション・プランへの対応

### <環境変化への柔軟な対応>

- 証券投資を促すための税制措置や金融所得課税の一体化の推進、本格的な少子高齢化時代における資産形成の自助努力を促す制度の導入に向けた課題の整理と検討
- 総合取引所制度に関連した本協会の業務範囲の整理等
- 我が国の市場仲介者や金融・資本市場の機能が適切に発揮されるような環境の実現に向けた対応(米国FATCA、マイナンバー法等への対応)

### <自主規制機能の適切な発揮と行動規範の確立>

- 行動規範委員会による協会員の倫理意識向上への提言を踏まえた監査、研修等の見直し
- 投資者の意識や規制環境の変化に即応した資格試験、資格更新研修等の見直し(「資格試験問題等改革プロジェクト」の推進等)
- 協会員の信頼性・健全性を高めるための方策の検討(特別監査チームの設置等)
- 問題点の早期発見と発見した問題への適切な対応(モニタリングの強化、ATC機能のさらなる活用)
- 環境の変化に対応するための自主規制規則の適時適切な見直し

### <公正・透明な金融・資本市場の育成>

- 顧客に対するわかりやすい書面・説明の在り方に関する検討
- 投資信託法制の見直しを受けた対応
- インサイダー取引の未然防止に向けた継続的な取組み(J-IRISS登録推進等)と公募増資に関連した不公正な取引への対応
- インベスター・アラート等の活用
- 警察当局との連携を踏まえた反社情報照会システムの稼働に向けた対応

### <最適な規制環境の国際的構築>

- 海外の自主規制機関等との連携強化
- IOSCO(証券監督者国際機構)等への積極的参画と成果の還元

### <金融リテラシーの向上>

- 学校教育における金融経済教育の充実に向けた具体的な支援策(高校生向けの副教材の制作及び中学生向け副教材の普及等)の検討
- 国民各層の世代(とりわけ現役若年層)、知識又は経験に応じた金融リテラシー向上への支援の一層の推進
- 未公開株・社債等をかたった詐欺の被害防止に向けた周知、広報キャンペーンの実施等

### 協会組織・機能の向上 と効率性追求

- 入会審査等の態勢の拡充と当局等との緊密な連携の強化
- 効果的・効率的観点からみた事業活動の再構築による支出予算の抑制
- システムの利用状況とサービスレベルの検証等を踏まえた有効かつ効率的なシステム構築・運用に向けた対応